



通信行政の 役割と面白さ

総合通信基盤局電波部基幹・衛星移動通信課
重要無線室重要無線係長

戸部 絢一郎

TOBE Junichiro

平成15年 4月 総務省採用
総合通信基盤局電波部電波政策課
平成17年 8月 総合通信基盤局電波部移動通信課
平成19年 7月 総合通信基盤局電気通信事業部消費者行政課
平成21年 7月 総合通信基盤局電波部衛星移動通信課海上係長
平成24年 8月 総合通信基盤局電波部電波政策課第三計画係長
平成27年 4月 総合通信基盤局電波部基幹通信課
重要無線室重要無線係長
平成28年 7月 現職

■身近で大切な無線

皆さんは110番通報をしたことはありますか？110番通報をして、自分の居場所と状況を警察本部に伝え、数分後には目の前にパトカーが到着します。パトカーの警察官と直接話したわけではないのに、パトカーがその場所に来る。それは、警察本部は常にパトカーの位置を「無線」で把握していて、「無線」によって通報の内容を配備中のパトカーへ指示をしているからです。無線を使用するには、基本的に総務省からの許可が必要となります。私はこの警察無線や消防救急無線、防災行政無線などの、国の機関や自治体が使用する無線システムの許可を担当しています。これらの無線は、普段の生活の中では見えにくいですが、人命に関わる事件や事故、災害の対応をはじめとして、国民の皆様が安心して日々の生活を送るために必要な役割を担っている、とても大切な無線です。街中で警察官や消防隊員の方を見かけると、つい彼らの無線機にも目がいき、今日も「無線」が元気よく働いているかが気になります。

■遊びの中から広がる仕事の面白さ

私は、情報通信に関係する分野に所属しているので、同僚も情報通信が好きな人が集まりやすくなります。同僚と、仕事以外では主にスマートフォンの新機種や新機能、ゲームの話などの会話が盛り上がり、皆で夜の暑い街に繰り出してモンスターを集めたりもしました。これらを仕事目線で見ると、情報通信分野の担当としては気になる技術も多いです。例えば「無線LANがどれくらいの距離まで通信可能か？」ということに理論値はありますが、私は同僚と携帯ゲーム機を対戦モードにしなが、どの程度離れたら無線LANの通信が途切れるかを試したことがあります。もちろんこれは半分遊びでやった事ですが、無線LANの性能を感覚的に知ることになりますし、誰かに説明するときに自らの経験を交えて説明することができます。遊びの中でも仕事につながることを見出し楽しめるようになると、仕事にポジティブになることができます。

Question & Answer

Q. 入省後、成長したと思うことは？

A. 学生時代は、電波をはじめとする通信工学が専門だったのですが、成績的には数学が得意で電波は苦手な分野でした。仕事で触れているうちに、よりディープな無線の仕組みや、実社会におけるレーダーの利活用について詳しくなることができました。また、前述したパトカーが現場に到着する仕組みもそうですが、鉄道が緊急時に停止する仕組み、船舶が衝突せずに安全に航行する仕組み、緊急地震速報を瞬時に住民に伝える仕組みなど、社会インフラの舞台裏を知ることでできたので広い知見が育ってきていると思います。

Q. 10年後、どんな仕事をしたい？

A. 10年後も、同じように情報通信行政の分野で仕事をしたいと思っています。新しい物好きなので、これだけ早く新技術や新サービスが登場するこの分野はとても刺激的ですし、何よりも好きな情報通信に関するすべての情報が集まる場は他にはなく、苦しいときもあると思いますが、これからも情報通信行政に携わりたいです。



Private Life

休日は鉄道が大好きな息子（2歳）と一緒に、新幹線を見に東京駅へ行ったり、蒸気機関車のある公園へ遊びに行ったりしています。また、パソコンをいじることが好きで、特に新しいパソコンを作る時に、性能とお財布状況考えたパーツ選びをすることと実際に組み立てる作業がとても楽しいです。

